

読む ミルク



萩原 扶未子

女性起業家交流会 in HOKURIKU代表

「ネットワークが広いね」と、よく言われます。これは、いろいろな会に参加しているおかげです。会のいいところは、日ごろ接点をもてない業種や立場の方と、会の会員(仲間)としてお付き合いいただけることで、オフィシャルでは得られない情報や知識に触れられます。

特に私は、25歳で仕事のネットワークも経営者としての知識も何も持たずに起業したので、経営者関係の会に入れ

てもらえなければ、きつと一年もたらずに挫折していたと思います。

経営者の朝起き会に、講師で呼んでいただいたのをきっかけに、入会させてもらえたのがスタートです。ただ、雲の上の存在である経営者の方々の中で緊張し、どう振る舞えばいいのかかわからず右往左

で帰ったこともありました。

それでも会の皆さんからの叱咤激励や温かい指導をいただき、なんとか25年近く経営者として継続できたのです。さらに大人になれば、なかなかできない友情を育むことも会の仲間だからこそできました。おかげで専門家やトップの方々に気軽に相談で

抜きをしないことなどを教わ

りました。そして、それがそのまま個人の評価や経営に反映することが多々あることもわかりました。かといって、たくさんの会に入ればよいというわけではありません。当たり前のことですが、費用や時間がかかります。

会の活動が成長の糧

往でした。また、経営者としての知識はもちろんのこと、

接遇、書類作成、宴席にいたるまで顔から火が出るような恥ずかしい数々の失態を演じたと思います。

反面、若いから、女性だからと軽んじられないように強がったり背伸びをしたりした結果、「生意気」と叱られて失意

き、真摯に助言をもらえていきます。

特に会での活動を通して、各状況下でどうやっていけばいいのかを学べました。忙しいのは皆さん同じなので、役を受けたからには愚痴を言わずに一生懸命やることや「忙しい」を理由にしないこと、忙しいこと、会の活動だからと手

いこと、会の活動だからと手

会員の皆さんに教えていただいた事を伝えていき、多くの方にチャンスが広がればと考えています。そのように思いで、「女性

起業家交流会 in HOKURIKU」(JKK)代表としての運営や、七尾の「女の会」、小松の「グループ小まめ」などの顧問として携わらせていただいています。

最後に、これまでの感謝を込めて「ありがとうございます。これからもよろしくお願いたします」